TADANO

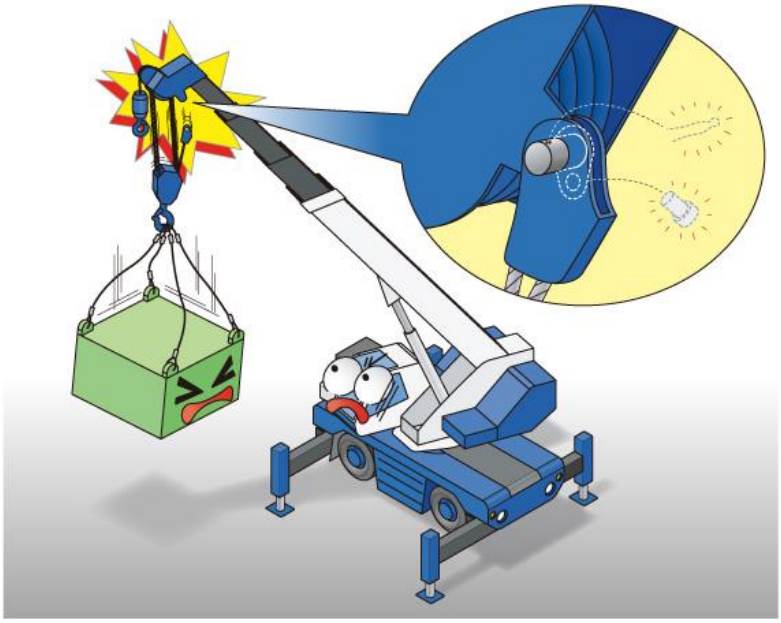
事故事例 ウインチのロープソケット脱落による吊り荷落下事故

ラフテレーンクレーン・オールテレーンクレーン
トラッククレーン・カーゴクレーン・目的別製品

事故発生状況

メインフック(4本掛け)で荷物を吊り上げ、旋回していたところ、メインウインチ用のロープソケットの固定ピン(トップブームとの連結部品)が抜け落ち、吊り荷が落下した。

※固定ピンを取り付けているボルトと割りピンが無くなっていた。

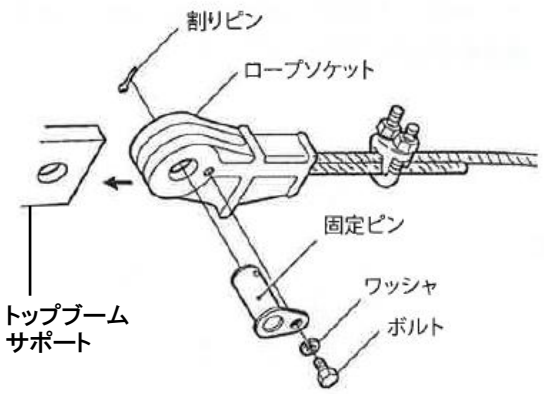


原 因

ロープソケットの固定ピンを取り付けている、ボルトと割りピンが付いていない事に気が付かなかったため。

対 策

作業開始前点検時にロープソケットの取り付け状態を確認する



- ロープソケット、固定ピン、取り付けボルト、割りピンの取り付け状態が正常である事を確認してください。
- ワイヤロープの交換やフックの巻掛変更時は、取扱説明書を確認し、確実に行ってください。

異常を発見した場合は、直ちにタダノ指定サービス工場で点検・修理を受けてください。

Copyright (C)2012 TADANO Ltd. All rights reserved